

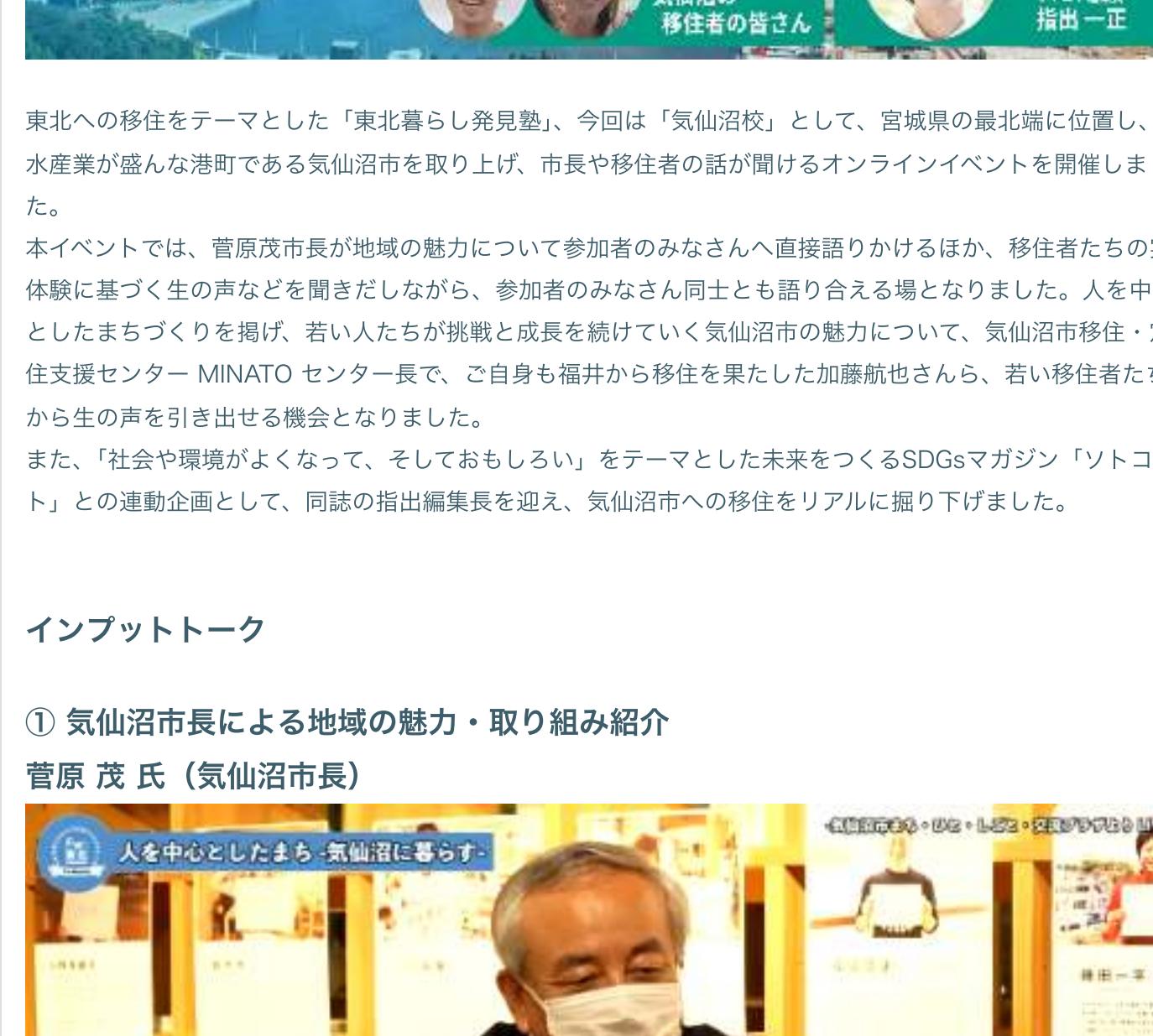
特集記事

Fw:東北 Fan Meeting 東北暮らし発見塾（気仙沼校）～“人を中心としたまち”気仙沼に暮らす

シェア Tweet

投稿日:2022年8月8日 カテゴリ: Fw:東北FanMeeting

Fw:東北 Fan Meeting 東北暮らし発見塾（気仙沼校）～“人を中心としたまち”気仙沼に暮らすイベントレポート



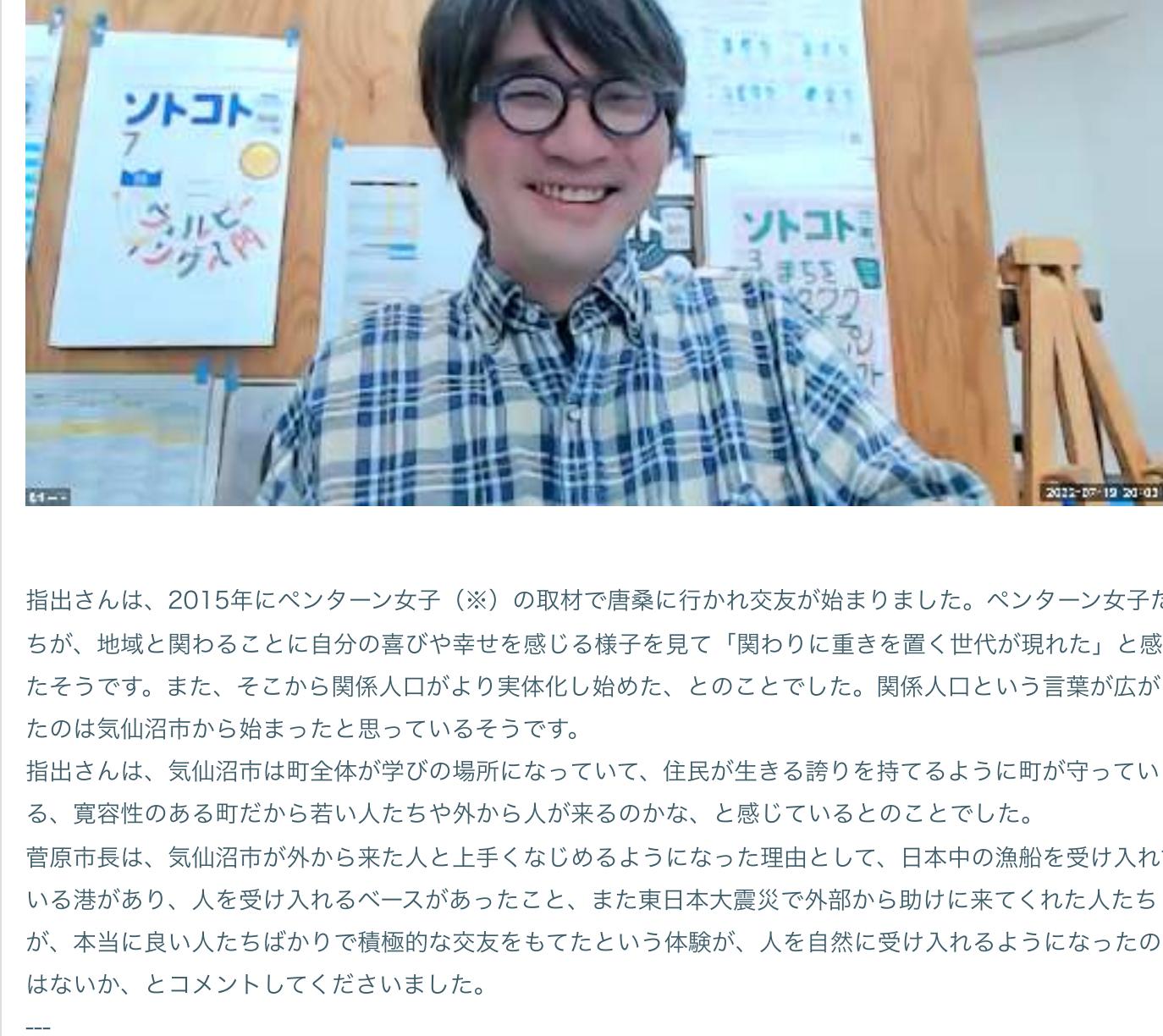
東北への移住をテーマとした「東北暮らし発見塾」、今回は「気仙沼校」として、宮城県の最北端に位置し、水産業が盛んな港町である気仙沼市を取り上げ、市長や移住者の話が聞けるオンラインイベントを開催しました。

本イベントでは、菅原市長が地域の魅力について参加者のみなさんに直接語りかけるほか、移住者たちの実体験に基づく生の声などを聞きながら、参加者のみなさま同士とも語り合える場となりました。人を中心としたまちづくりを掲げ、若い人たちが挑戦と成長を続けていく気仙沼市の魅力について、気仙沼市移住・定住支援センター MINATO センター長、ご自身も福井から移住を果たした加藤航也さんら、若い移住者たちから生の声を引き出せる機会となりました。また、「社会や環境がよくなって、そしておもしろい」をテーマとした未来をつくるSDGsマガジン「ソトコト」との連動企画として、同誌の編集長を迎えて、気仙沼市への移住をリアルに掘り下げました。

インプットトーク

① 気仙沼市長による地域の魅力・取り組み紹介

菅原 淳 氏（気仙沼市長）



気仙沼市菅原市長から地域の魅力・取り組みをお話いただきました。

「人から始まる地方創生」というテーマで市民が主役のまちづくりを目指しているそうです。人材育成を基礎として市民と行政・宮利と非営利が一緒に同じ方向性をもってまちの課題に挑戦する「まち（まるごと）大学構想」が紹介されました。

また、移住・定住促進の取り組みとして移住・定住の相談窓口「MINATO」の設置、空き家バンク、お試し移住・災害公営住居転用、ワーケーション推進を行っているそうです。気仙沼市の「地域おこし協力隊」は、第一次産業だけではなく、まちづくりなど色々な形で活動できることが特徴とのことでした。

気仙沼市は、世界を相手に仕事を行い、地域の豊かさを維持する将来像を描いているそうです。菅原市長は、「東日本大震災から10年たち、人と人との縁、つながりが大切だということがよくわかった。これからも関係人口・移住定住を促進し“世界とつながる豊かなローカル”を目指したい」と述べてくださいました。

② 市長と指出氏との対談

指出 一正 氏（ソトコト編集長）



指出さんは、2015年にペンターン女子（※）の取材で唐桑に行かれ交際が始まりました。ペンターン女子たちが、地域と関わることに自分の喜びや幸せを感じる様子を見て「関わるに重きを置く世代が現れた」と感じたそうです。また、そこから関係人口がより実体化し始めた、とのことです。関係人口という言葉が広がったのは気仙沼市から始まったと思っているそうです。

指出さんは、気仙沼市は町が学びの場所になっていて、住民が生きる誇りを持てるように町が守っている、寛容性のある町だから若い人たちや外から来る人がいるなど、を感じているとのことでした。

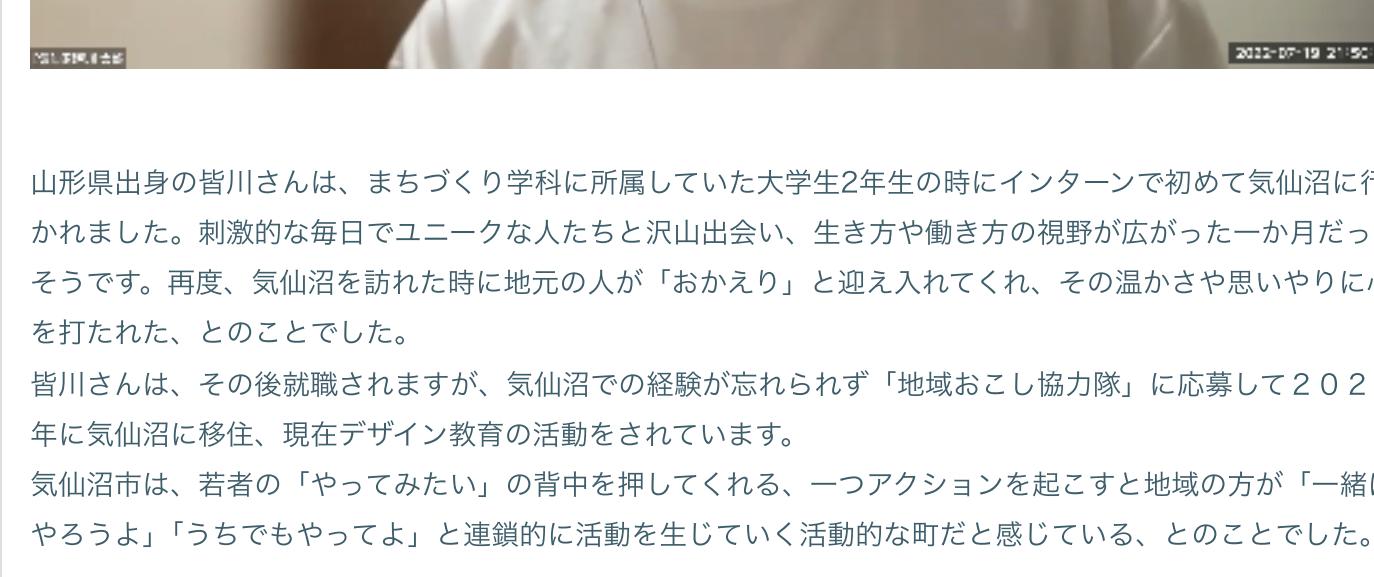
菅原市長は、気仙沼市が外から来たら上手くなじめるようになった理由として、日本中の漁港を受け入れている港があり、人を受け入れるベースがあったこと、また東日本大震災で外部から助けに来てくれた人たちが、本当に良い人たちばかりで積極的な交友をもてたという体験が、人を自然に受け入れるようになったのではないか、とコメントしてくださいました。

--

※ペンターンは“peninsula turn”的略で、半島移住を意味する造語。

移住経験・支援者の経験談

加藤 航也 氏（気仙沼市移住・定住支援センター MINATO センター長）



福井県出身の加藤さんは、大学生の時に東日本大震災のボランティアで気仙沼市唐桑半島に行かれました。地元の若者と外からボランティアで来た若い人たちが協力してまちづくり活動をする「からくわ丸」という団体に出会い、若いたちが地域を盛り上げる活動をしていくことに衝撃を受け、毎月のように唐桑に通うようになり楽しい日々を過ごすようになりました。

加藤さんは、自分の地元の若者たちと一緒に唐桑へ移住しました。現在は保育士として働かれています。唐桑での活動で自分の地元の人たちと一緒につむぎを作りました。唐桑は地元の人とも関わるし、行政の子育てミーティングなど市町村とも話ができる場があり、町に住んでいることが自分事として捉えられる、魅力がある町のことでした。

皆川 大郎 氏（一般社団法人ペンシーライフデザイン教育担当）



参考リンク

・宮城県気仙沼市

・気仙沼市移住・定住支援センターMINATO

・宮城県

・「新しい東北」官民連携推進協議会事務局担当

Mail: j-tb@jtb.com

Tel: 03-6737-9291

©2015「新しい東北」官民連携推進協議会. All Rights Reserved.

TOP > 特集記事 > Fw:東北FanMeeting > Fw:東北 Fan Meeting 東北暮らし発見塾（気仙沼校）～“人を中心としたまち”気仙沼に暮らす

カテゴリ

① 「新しい東北」復興・創生の星顕彰2023

② 「新しい東北」復興・創生の星顕彰2022

③ 「新しい東北」復興・創生の星顕彰2021

④ 「新しい東北」復興・創生の星顕彰2020

⑤ 「新しい東北」復興・創生の星顕彰2019

⑥ 「新しい東北」復興・創生の星顕彰2018

⑦ 「新しい東北」復興・創生の星顕彰2017

⑧ 「新しい東北」復興・創生の星顕彰2016

⑨ Fw:東北FanMeeting

⑩ インタビュー2018

⑪ みちのくみみっけ

⑫ 東北の明日を切り拓く

⑬ 東北の「新たな挑戦」

協議会の会員による
様々な復興支援活動はこち復興庁
Reconstruction Agency
新しい東北
官民連携推進協議会